

2016年3月

「地震予知」セミナー(日本地震予知学会主催)  
開催のご案内

2011年の東北大震災から5年が経過し、地震や津波に対する防災や「地震予知」の重要性に対する関心が薄れてきています。

さて、私たちは2014年に一般社団法人「日本地震予知学会」を立ち上げ、地震の先行現象を集中的に研究し、地震の短期予知を目指しています。地震の短期予知とは、地震の数日前から数週間前に「いつ、どこで、どの程度(マグニチュード)」の地震が起こるかを予知することです。従来の地震学での中期予測「南関東でここ30年間にM7クラスの地震の起こる確率は70%」とは、本質的に異なるもので、地震予知学で取り扱う短期予知のみが人命や財源を救うものです。

電離層の擾乱は地震との因果関係がすでに確立しているなど、地震予知の最前線を代議士の多くの方にも知っていただき、国防の情報としてその重要性をご理解いただき、国政に生かしていただきたく存じます。

ご出席のお返事は4月14日(木)までに、FAXもしくはE-mailにてお送りください。お返事をお待ちしております。尚、会費2000円にてお弁当をご用意いたします。

日本地震予知学会代表理事(会長)  
早川 正士

記

日時： 2016年4月21日(木) 午後12時～13時30分

場所： 衆議院第1議員会館地下第3会議室

講演： (1)早川正士(会長)

「地震予知研究の最前線(日本地震予知学会の目指すもの。地震学との違い)」(30分)

(2)長尾年恭(副会長)

「地震予知研究の世界の動向」(30分)

(3)総合討論(質疑応答)(15分)

主催：日本地震予知学会 ホームページ <http://www.eqpsj.jp/>

共催：「二日前の地震予知が日本を救う」会(会長 加藤尚彦)

日本地震予知学会事務局(担当：山口) FAX：03-5579-8470 E-mail：[office@eqpsi.jp](mailto:office@eqpsi.jp)

「地震予知」セミナーに出席します。

御芳名：

御所属：

御連絡先：